



野生動物の写真には、
「狙って撮った写真」と
「偶然撮れた写真」の2
種類あります。

「狙って撮る」とは、
足跡や糞などから、その
動物の通り道や食事場所
現れる時間帯を予測して
先回りして撮る方法です。
「偶然撮れた写真」とは
文字通り、たまたま出会
って撮れる写真です。そ
うした出会いもすてきで
すが、継続してその動物
の暮らしを撮るためには、
狙って撮ることが必要に



木登りが得意なクロテン



小さなハンター、イイズナ

なっています。しかし今回紹介
するイタチの仲間は、私は偶然
でしか撮れたことがありません。
行動を予測することがとても難
しいのです。

北海道にいるイタチの仲間

元々北海道にいるイタチの仲
間はクロテン、オコジョ、イイ
ズナ、ラッコの4種。それに加

え、毛皮生産などのために持ち
込まれ野生化したミンク、ホン
ドテン、ニホンイタチがいます。
元々北海道にいる4種に限って
言えば、一度、恋問海岸でラッ
コを見たことがあります。そ
れっきります。山岳地帯の岩場
を主な生息地とするオコジョも
白糠町では見たことがありませ
ん。白糠町内で出会うことが期
待できる在来種のイタチはイイ

ズナとクロテンだと思います。

広い行動範囲

イイズナもクロテンも、狙っ
てみても毎回空振り。とにかく
行動パターンがつかめないの
です。その理由の一つに、行動範
囲がとても広いことが考えられ
ます。

イイズナは体長約17センチと、と

ても小さい動物です。調
べてみると、1匹の行動
範囲は最大15ヘクタール
ほど。なんとエスコンフ
ールド3つ分もありま
す。そんな広い面積をわ
ずか17センチの動物が動き回
っているのです。

一方、クロテンは体長
約50センチもありますが、そ
の分行動範囲も最大17
0ヘクタールほどもあり
ます。おまけに木にも登
って立体的に生活してい
るのです。ちなみにエゾ
ヤチネズミの行動範囲は
わずか直径約20センチな
いそうです。難しいけれ
ど、いつかイタチの暮ら
しを追ってみたいです。

PROFILE

六田晴洋

ろくたはるひろ

1986年生まれ。

2021年に白糠町へ移住。大学卒業後、
フリーランスのカメラマンやディレク
ターとして野生動物や自然風景を撮影
している。https://rokutaharuhiro.com

